
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目6番4号

近自無協だより

天満橋八千代ビル 4階

一般社団法人 近畿自動車無線協会

No.257 令和7年7月 夏号

Tel 06-6941-4600

Fax 06-6946-1660

近自無協 令和7年度通常総会 開催される

～ 自営無線、IP 無線、アプリの連携で、更なる移動サービスの充実を ～

当協会の令和7年度通常総会は、去る5月28日(水) 午後3時から、JR京都駅直結の「ホテルグランヴィア京都」にて、会員等総勢110名を超える出席者の中開催され、役員改選を含む全ての議案が原案通り可決承認されました。

信岡 弘二 副会長の「無線も大きな変革期。新しいシステムを生かし、うまく運用していくのも我々の使命」との開会の辞に続き、挨拶に立った坂本会長は、会員各位の出席並びに平素の活動に対する支援への謝辞と、総会冒頭表彰した永年の無線活用等による無線関係優良従業員表彰受賞者への祝辞を述べるとともに、「万博が始まり1か月半が経過し、2～3日前に500万人を突破した。ビッグイベントであり我々の仕事においても恩恵を蒙るものになる。日本全国、世界各地から大阪、近畿各地へ多くの人が来る。我々タクシー業者は、しっかりしたおもてなしによって関西はいいところだとのイメージを来訪者に持ってもらい、また関西に全国、世界から来てもらえるようにしたい。それが商売に結び付くものであり、ビッグチャンスと受け止めて10月13日まで、そのことを注視しながら仕事に従事していきたいと思っている。



挨拶する坂本会長

京都を筆頭に近畿でも運賃改定が進んでいる。運賃改定においては、ドライバーの労働条件改善が一つの要素で、働く人が自信と誇りをもって仕事できることが重要だ。賃上げによってサービスが更なる向上につながり、そのことで利用者にお返しをしていく。また、企業として物価上昇の中、運賃改定によってコストを吸収し経営の健全化も進めていきたいと思っているのでよろしくお願いしたい。

タクシー無線の歴史は約70年。この間、自営無線からIP無線、配車アプリへと配車システムの流れとなった。特に都市では、IP無線や配車アプリが増加しているが、地方、郡部では自営無線も多く配車アプリもいきわたっていない状況もある。その中で、無線運営には人件費をはじめコストがかかることから無線室を縮小したり、クラウドを使って配車業務を委託している事業者もある。

この先は、無線とアプリのシステムをいかにうまく組み合わせながら、利用者のニーズ、利便に合うサービスを提供できるかが課題だ。多様なタブレットの統一化で社内の効率化なども必要だろうと考えられる。

高齢化している地方ほど無線は必要なツールであるが、来年6月に自営無線の一斉再免許がある。それが自営無線の今後のポイントになるだろう。全自無連は昨年解散したが、会員の減少がきっかけだった。地域において自営無線を使う会社に対して協会としては支援する役目がある。いつまでかという問題はあるが、みなさんと相談しながら維持していく必要はあると考えている。ただ、タクシーがここまでこれたのは、無線がバックボーンだったとの自負は持っている。特に災害時には自営無線は強い。そこを活かしてやっていきたいと考えているのでご協力をお願いしたい。」と述べました。

令和7年度通常総会 報告

議事進行の概要



会長あいさつの後、出席 50 会員と委任状及び書面表決書の提出 47 会員の正会員 97 会員の出席により総会成立が報告され、坂本会長を議長に、次の議案がそれぞれ審議、承認・決議等されました。

議案 ① 令和 6 年度事業報告、② 令和 6 年度決算報告・監査報告、③ 令和 7 年度事業計画、④ 令和 7 年度収支予算、⑤ 役員の改選、⑥ 令和 8 年度通常総会開催地。

令和 7 年度の取り組みとしては、来年の自営無線の一斉再免許に向けた申請のサポート、来年 3 月末で終了するドコモの 3G 回線を使用する IP 無線の移行措置等の支援や無線配車システム導入のためのサポートなどが課題となっています。

予算については、前年度に引き続き赤字予算となっており、事務局経費等の一層の経費削減に努めるとしてありますが、一斉再免許等に伴う IP 無線移行や非無線化などの今後の動向を注視しながら、組織・財政両面での検討を行うこととしています。

任期満了に伴う役員の改選では、新任理事として、全大阪タクシー協同組合理事長 信岡 弘二 氏、京都第一交通株式会社代表取締役 北浦 歳彦 氏、神戸個人タクシー事業協同組合理事長 池田 恵 氏、和歌山タクシーコールセンター理事長の 井窪 稔明 氏の 4 氏を、また新任監事として彌榮自動車株式会社代表取締役社長 衆田 晃稔 氏を選任しました。



また、来年度通常総会の開催地については、これまでの慣例の府県持ち回り順に従い滋賀県内とすることが決定され、すべての議案が、提出された書面表決書等を含めて満場一致で承認、選任等されました。

続いて、同じ会場で、引き続き臨時理事会が開催され、会長（代表理事）に**坂本栄二会長が再選**（2 期目）されるとともに、**副会長に、引き続き 兼元 秀和、池田 英憲、田畑 太郎 の 3 氏と、新たに 信岡 弘二（大阪）、福浦 秀哉（兵庫）、井窪 稔明（和歌山）、の 3 氏が選任され、また、専務理事に引き続き事務局の 平 祐一 氏が選任されました。**併せて各種専門委員会の委員と委員長・副委員長が提案され、承認されました。

その後、一旦休憩を挟み、来賓の各機関のご代表からご挨拶を頂戴しました（要旨を 4 頁、5 頁に掲載）。

また、来賓挨拶後、短時間でしたが、現在開催されている大阪・関西万博を記念した総務省のミニ講演も行なわれ（要旨を 6、7 頁に掲載）、盛りだくさんの内容となりました。

最後に、来年度通常総会の開催地となった滋賀の 田畑 太郎 副会長から「なにか皆さんに喜んでいただけるような企画も考えたいと思っている。昨年全タク連の事業者大会同様、多くの皆様にご参加いただきたい。」

と閉会のことが述べられ、総会は終了しました。

なお、総会会場前ロビーでは、午後 2 時から、賛助会員の システムオリジン、三菱電機、新潟通信機、トム通信工業の 4 社のほか、配車アプリの GO、S.RIDE、DiDi も加わり、無線機・配車システム・配車アプリの展示・相談も行われました。



賛助会員等による機器・アプリ展示

続いて、別室にて開催された懇親会では、冒頭、京都府支部のアトラクションとして、京の五花街の一つ、上七軒の芸舞妓さんたちによる歓迎の京舞が披露されました。



兼元 秀和 副会長 川口 宏幸 支局長

との力強い言葉と一本締めで、名残惜しい中お開きとなりました。

地元京都支部長の 兼元 副会長は、上七軒の京舞の紹介をするとともに、生成 AI で作成した挨拶を披露、「今宵京都の夜を楽しんでいただきたい」と挨拶。続いて地元の 川口 宏幸 京都運輸支局長のご挨拶と乾杯の発声で和やかに始まりました。

そして懇談は、奈良の 池田 英憲 副会長の「現状は不透明な部分もあるが、近無協は一致団結して頑張っていきたい」



無線関係優良従業員17名が表彰される

通常総会に先立ち、「令和7年度無線関係優良従業員表彰式」が執り行われ、4月22日の理事会で選考された17名の方々の表彰が発表されるとともに、式典に出席した代理者を含む受賞者9名に坂本会長から表彰状の授与と記念品の贈呈が行われました。

○ 自動車無線に永年従事し勤務成績優秀により表彰（17名）

アオイ自動車株式会社	猪田 浩孝 様	日本タクシー株式会社	高森 雅敏 様
大阪トンボ交通株式会社	吉井 猛 様	日本タクシー株式会社	杉本 大樹 様
幸福交通株式会社	佐々木健一 様	阪神タクシー株式会社	藤原 寛子 様
近鉄タクシー株式会社	原田 隆志 様	古市交通株式会社	加藤 一郎 様
西神交通株式会社	増田 俊彦 様	彌榮自動車株式会社	中嶋 健一 様
全大阪個人タクシー(協)	野田 早苗 様	彌榮自動車株式会社	池上 長明 様
仲川交通株式会社	横濱 浩一 様	彌榮自動車株式会社	栗田 哲 様
日本交通株式会社	山科 幸生 様	彌榮自動車株式会社	南沢 和子 様
日本交通株式会社	東 周作 様		



来賓ごあいさつ

公務ご多端の折、次の方々にご臨席いただき、ご挨拶を頂戴しました。



伊藤 英知 部長

総務省 近畿総合通信局 無線通信部長 伊藤 英知 様
陸上第三課長 堂上 裕樹 様
上席電波検査官 亀本 和代 様
情報通信連携推進課長 岡野 民江 様

近畿総合通信局長 藤田 清太郎 様 ご挨拶（代読）（要旨）

藤田局長所用欠席のため、局長祝辞を代読する。

近年、デジタル化や ICT の発展により社会が大きく変化しており、交通業界においても自動運転など情報通信を活用した計画が進んでいる。タクシー業界におかれても既に IP 無線や配車アプリなどの多様なサービスが生まれ、タクシー無線を取り巻く環境も大きく変わりつつあるなど、引き続き関西 MaaS への対応なども考慮していく必要がある一方で、高齢化が進む地域社会において、タクシーは普段の生活を支える交通インフラとしてますます重要な責務を担っており、スマートフォンなど操作に不安を感じている高齢者にはこれまで同様にタクシー会社への電話による窓口への配車依頼が頼りとなっている。

タクシーにおいては、現在様々なサービスが提供され、お客様側で多様なニーズに合わせて選択可能となっているところであるが、引き続きタクシー無線の有効活用を進めていただき、大阪・関西万博によるインバウンド需要が高まる中、地域における優しいモビリティであり続けますよう業界が一段となって取り組んでいただくようよろしくお願いします。

また、この大阪・関西万博は未来社会のデザインを世界に発信する絶好の機会になる。総務省では 5 月 26 日から 6 月 3 日までの間、WASSE 会場において、次世代の情報通信技術を体感できる「Beyond 5G ready ショーケース」を展示し、また、AI を活用した多言語翻訳技術「EXPO 翻訳」の提供を行うなど、これらの取り組みを通じて未来社会をアピールしていく。会員の皆様におかれましても 大阪・関西万博を機に、関西から賑わいを創出していただくことを期待している。

他方、総務省では電波の有効活用の促進や近年の情報通信技術の進展に対応するため、いわゆる「周波数オークション制度」の創設、電波利用料制度の見直し、無線局免許状等のデジタル化などの措置を講ずる電波法等の改正案を今国会に提出し、4 月 25 日に公布されたところ。

皆様に関わりの深いものとして、1 つ目として 国の機関や相当数の無線局を開設する免許人等を対象とした免許申請手続きの書面手続きからインターネット手続きへの義務付け、2 つ目として免許状等の書面による交付を廃止し、免許人自らインターネットで免許事項を閲覧できる仕組みを導入するなどが挙げられる。免許状のデジタル化においては、より速やかにより確実に免許を受けることができること、書面の免許状等の管理が不要となることなど免許人の負担軽減につながるもの。今後、皆様のご意見を踏まえながら速やかに関係政省令等の制度整備を進めたいと思っている。引き続きご支援ご協力をお願いしたい。



国土交通省 近畿運輸局 自動車交通部長 西野 光 様
旅客第二課長 黒坂 直樹 様
京都運輸支局長 川口 宏幸 様
首席運輸企画専門官 中野 幸太 様

近畿運輸局 自動車交通部長 西野 光 様 ご挨拶（要旨）

本年 4 月に大阪・関西万博が開幕した。開幕して約 1 ヶ月半経ち、多くの方々が関西を訪れているが、タクシー輸送においては、特段大きな混乱が生じていない。これもドライバーを確保してタクシーの供給を増やし、無線をはじめとした多様な配車手段を活用し、必要な場所にタクシーを配置していただいた結果であると考えており、皆様方のご尽力のおかげだと思っている。

改めて申し上げるまでもなく、タクシー無線は、配車指示といった迅速な情報伝達を可能とするなど、タクシーの利点でございます機動性を十分に発揮させるために非常に重要な役割を果たしている。昨今、スマートフォンによるアプリ配車も増えてきているが、特に高齢者などスマートフォンに不慣れな方にとっては、今でもオペレータによる無線配車はタクシーを呼ぶための大切な手段であり、いわゆる「交通空白」を産まないためにも不可欠なものである。

国土交通省では、交通空白の解消に向けて早急に対応していくため「交通空白解消本部」を設置し、令和 7 年度、今年度から 3 カ年を集中対策期間として、交通空白解消の取り組みを総合的に後押しすることとしている。加えて、現在、近畿地方の各地でタクシーの運賃改定の申請が提出されている。運賃改定が実施された際には改定された運賃を原資として、ドライバーやあるいはオペレータの確保、待遇改善などに活用していただければと思っている。

日頃の輸送の安全確保はもとより、タクシー無線の特徴を生かしながら、防犯・防災への活用など、地域、利用者ニーズに対するきめ細やかな対応、社会的責任を果たしていただいていることに改めて敬意を表したい。

京都府警察本部 交通部次長 塩見 幸三 様



京都府警察本部 交通部長 奥野 雅義 様 ご挨拶（代読）（要旨）

奥野交通部長所用欠席のため、交通部長祝辞を代読する。

近畿自動車無線協会におかれては、タクシー無線の適正な運用とタクシー事業における公衆の利便性向上に資する役割を担う立場から、事件・事故発生時の無線を活用した警察への適切な通報等について、深く会員の皆様にご指導ご助言をいただいているところであり、厚く御礼申し上げます。

塩見 幸三 次長

さて 昨今の観光需要の高まりにより、国内外から大変多くの方が近畿圏内を訪問されている。特に本年は大阪・関西万博の開催に伴い、地方への周遊を含めた観光客も増え、ますます旅客輸送の重要性が高まっているところである。

皆様方におかれては、近畿のタクシー事業者として、日頃から業務中の交通事故防止に取り組んでいただいているところであるが、本年 4 月末現在、近畿 2 府 4 県では 119 人の方々交通事故で亡くなられており、昨年に比べて約 2 割の増加、また、京都府においても前年より増加となっており、非常に厳しい情勢にある。こういった交通事故情勢を踏まえ、当警察では人を優先の交通社会の実現に向けた取り組みとして、タクシードライバーの皆様等に他の運転者の模範となる「はんなり運転」の実践を、関係団体を通じてお願いしているところ。「はんなり運転」とは、上品で明るく華やかな、また落ち着いた様を表す京都にある「はんなり」という言葉を引用した横断歩道での歩行者優先を徹底するためのスローガンとして、まず横断歩道 手前での減速、そして歩行者がいれば一時停止して安全に横断できるよう見守る、といった安全行動が実践されるよう、様々なシーンでの広報、啓発に取り組んでいる。各府県警察においても同様にこういった活動を推進しているところである。

皆様には 引き続き各種交通安全対策に取り組んでいただくとともに、歩行者保護への深いご理解と強力なご支援をいただくようよろしくお願い申し上げます。

いこか万博！心ときめく、デジタル社会に向けて ～ 未来が見える！総務省の【Beyond 5G ready ショーケース】 ～



令和7年度通常総会に来賓として出席した近畿総合通信局情報通信部情報通信連携推進課の 岡野 民江 課長は、総会議事終了後、同会場において、大阪・関西万博を記念した講演を行い、万博会場で総務省が企画展示している内容を説明しました。その概要を紹介します。

総務省は万博会場に、【Beyond 5G ready ショーケース】として、未来社会を体験できるブースを準備した。総務省では、「Beyond 5G」を次世代の情報通信基盤としている。この実現のために様々な取り組みを行っている。その一つとして万博の中で次世代通信をテーマとしたイベントとして、5月26日から6月3日の9日間、期間限定で、今まさに開催している。

「Beyond 5G」は、5Gの次の世代の情報通信基盤で、2030年代の暮らしを支える重要なインフラとして、あらゆる産業や社会活動の基盤となることが期待されている。これまでの無線通信の延長上ではなく、有線や無線、また陸海空や宇宙まで包含したネットワークと考えられている。

今回の展示は、子供から大人までの幅広い層へ向けて、どのようなことが実現されるのか、未来社会生活のイメージを没入感のある体験ができるブースになっており、未来を垣間見ることが出来るもの。

会場はEXPO メッセ「WASSE」内にある。具体的には、ゾーン1・2・3に分かれており、三つのゾーンで未来社会が体験できる。ゾーン1は、プロログシアターで、180度スクリーンを使った没入感のある映像が流されており、古代の狼煙から今日までの通信の歴史が体感できるものとなっている。

その先にゾーン2があり、未来都市エリアと技術体験ブースになっている。ここが一番楽しめるところかと思う。「Beyond 5G」が社会や生活にどう影響するか、また、どう進化かするのが様々なコンテンツで楽しめる。

五つあるが、代表的な三つのコンテンツを紹介すると、まず未来の安心として、災害時の通信である「HAPS（ハップス）リカバリー」がある。成層圏の無線通信で、基地局機能を飛行機に乗せた「空飛ぶ基地局」となる。この災害時のシミュレーションの様子を臨場感のある映像で体験できる。

また、「リモートムーンオペレーション」では、未来の仕事をテーマにしており、VRゴーグルを装着して仮想の映像になるが、地球から月面のロボットを操作する体験ができる。「Beyond 5G」での大容量の光衛星通信やAI活用で遅延を感じない作業ができる世界が実現でき、これを一足先に体験できるものとなっている。

「オーシャンクリーニング」では、海中ロボットを地上から遠隔制御し、海洋環境維持の作業がシアター型で体験できるものとなっている。このほか、仮想空間のアバターとリアルタイムでキャッチボールが体験できる「バーチャルピッチングルーム」など、多様なコンテンツが用意されている。

最後のゾーン3では、「Beyond 5G」の開発がどこまで進んでいるか展示している。技術の現状や今後の展望が多様な映像や展示で紹介されており、楽しめるものとなっていると思う。

「Beyond 5G ready ショーケース」 ZONE2（技術体験）の概要
6

ZONE2では5つの技術体験コンテンツを展開（下記一例 他2コンテンツ）

リモートムーンオペレーション	HAPSリカバリー	オーシャンクリーニング
現状は地球と月面間の通信では遅延が大きく、リアルタイムの遠隔作業等は不可能だが、Beyond 5Gでは、デジタルツインやAIにより遅延を感じさせないスムーズな動きが可能となる未来。 地球から月面基地のロボットをリアルタイムで遠隔操作し、月面作業を行う、VRゴーグルを活用した没入感型体験ブース	現状は地上の通信でカバーできていないエリアや災害時に通信が途絶したエリアを、Beyond 5Gでは、HAPSにより上空から通信をカバーできる未来。 災害により通信が途絶した地域に、HAPSを操縦して通信の復旧を行う臨場感型体験ブース	現状は海中まで無線通信が到達できず動画などの大容量転送には不向きだが、Beyond 5Gでは、NTN（非地上系ネットワーク）と水中の光無線通信等により、陸地から海洋・海中でのロボットの遠隔操作が可能となる未来。 陸地から海中ロボットを操作すること、海洋環境を守る体験ができるシアター型体験ブース

本会場は、事前予約は不要なので、是非来場して体験してほしい。

また、会場のほか、ウェブ上では「バーチャル催事」として、5月26日から万博終了日の10月23日まで実施されている。コンテンツの簡易体験となるが、ご興味のある方は是非覗いてみていただきたい。

講演の概要は以上ですが、この展示は9日間でしたが、メディアにも多数取り上げられ、来場者数も4万人を超えたとのこと。

<バーチャル催事 URL>

<https://b5g-readyshowcase.soumu.go.jp/>



***** お知らせ *****

【人事異動】7月1日付

近畿総合通信局長 野水 学 氏 (前任 日本郵政(株)経営企画部付部長 兼 経営企画部シェアードサービス推進室長事務取扱 兼 日本郵政コーポレートサービス(株)取締役)

前 任 藤田 清太郎 氏 大臣官房総括審議官(情報通信担当)へ異動

近畿運輸局長 服部 真樹 氏 (前任 海上保安庁総務部長)

前 任 岩城 宏幸 氏 国土交通省大臣官房付へ異動

【法令改正】電波法等の一部改正について

近畿総合通信局のご挨拶にもありました、免許状等のデジタル化をはじめとする電波法等の一部改正(令和7年4月25日公布)に関しては、その内容が具体化される総務省令案がパブリックコメントの募集が終わったばかり(6月30日まで)でまだ公布されておられません。

詳細が判明後、次号会報紙10月秋号で改めてお知らせいたします。

兵庫県支部の支部事務局の変更ににつきまして

今通常総会を期に、兵庫県支部の支部事務局が、西神交通株式会社様から阪神タクシー株式会社様へ変更になりました。

西神交通株式会社様には、12年の長きにわたり事務局として兵庫県支部を取りまとめ、支部活動の中心となってお世話いただきました。誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

阪神タクシー株式会社様におかれましては、ご多忙の中大変かと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【兵庫県支部事務局】

〒663-8142 西宮市鳴尾浜1-1-12

阪神タクシー株式会社内

電話 0798-46-6021 FAX 0798-49-3171

本年度の無線従事者免許講習会について

自営無線をお使いの会員へは既に府県支部等からFAX等にて案内していますが、2月の事前の受講希望調査結果に基づき、本年度の従事者免許講習会を次のとおり開催します。追加等で受講を希望される方は、本ページをコピーし必要事項を記入の上、そのままFAXにてお申し込みください。

- ◇ 日 時 令和7年9月5日(金) 8時45分～18時10分
- ◇ 場 所 天満研修センター 大阪市北区錦町2-21 TEL: 06-6354-1927
大阪環状線外回りで、JR大阪駅から1駅目「JR天満駅」下車 北東側 徒歩約5分
- ◇ 内 容 電波法規、無線工学の講習及び終了試験
- ◇ 受講料金 協会会員 1名当り 15,000円(教材、受講料、免許申請用収入印紙代込み。)
(注) 講習会の詳細については、受講決定後、改めてご連絡いたします。
- ◇ 申込期限 7月25日(金) までに FAX 返信をお願いします。
- ◇ FAX 番号 06-6946-1660 まで

令和7年度 無線従事者免許講習会 FAX受講申込書	
9月5日(金) 8時45分～18時10分 大阪市北区：天満研修センター	
フリガナ	
氏 名	
生年月日	昭 和 / 平 成 年 月 日
電話番号	勤務先／自宅／携帯
勤務先名	
勤務先住所	郵便番号 〒
本書記入担当者様 (ご本人の場合は 記入不要です。)	お 名 前 電話番号等

一般社団法人 近畿自動車無線協会 のホームページ、電子メール

Web 検索 「近畿自動車無線」
 近自無協メール kinmukyo@garnet.broba.cc 電子申請メール dkinmukyo@dmil.plala.or.jp